



い。」

神によって救われたノアたちでしたが、またこの地上に戻りました。それは地上にまだ使命があるからです。彼らは「生み、ふえる」こと、そして救いの歴史の担い手になってゆくという目的があったのです。後にアブラハムとその子孫であるイスラエル民族、さらにはイエスさまの救いというように歴史が続いてゆきます。

地上には矛盾や問題がいっぱいですが、だからこそ主のみわざが必要であり、その担い手として私たちが必要なのです。勇気と決心を持って、箱舟からこの世へとチャレンジしてゆきましょう。

主は「地をのろうことはすまい」と、ノアとその子孫に繁栄の希望を与えてくださいます。私たちも主の祝福があることを信じて、安心して前進しましょう。その前提をなっているのは、礼拝です。ノアにとって家畜や動物は貴重なものでした。しかしそれらも神様によって生かされ与えられているのです。

困難の多い人生だからこそ、先が見えないからこそ神を第一にしていきましょう。最もよいものを神にささげましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

8:13 六百一年目の第一の月の一日に、水は地の上から干上がった。ノアが箱舟の覆いを取り払って眺めると、見よ、地の面は乾いていた。

8:14 第二の月の二十七日には、地はすっかり乾いた。

8:15 神はノアに告げられた。

8:16 「あなたは、妻と、息子たちと、息子たちの妻たちとともに箱舟から出なさい。

8:17 すべての肉なるもののうち、あなたとともにいる生き物すべて、鳥、家畜、地の上を這うすべてのものが、あなたとともに出来るようにしなさい。それらが地に群がり、地の上で生み、そして増えるようにしなさい。」

8:18 そこでノアは、息子たち、彼の妻、息子たちの妻たちとともに外に出た。

8:19 すべての獣、すべての這うもの、すべての鳥、すべて地の上を動くものも、種類ごとに箱舟から出て来た。

8:20 ノアは【主】のために祭壇を築き、すべてのきよい家畜から、また、すべてのきよい鳥からいくつかを取って、祭壇の上で全焼のさげ物を献げた。

8:21 【主】は、その芳ばしい香りをかがれた。そして、心の中で【主】はこう言われた。

「わたしは、決して再び人のゆえに、大地のろいをもたらしはしない。人の心が思い図ることは、幼いときから悪であるからだ。わたしは、再び、わたしがしたように、生き物すべてを打ち滅ぼすことは決してしない。」

8:22 この地が続くかぎり、種蒔きと刈り入れ、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜がやむことはな

